

katakuri

佐野日本大学短期大学学報 かたくり

第151号 | 令和5年3月14日



ACCREDITED
2019

sanotan[®]
Sano Nihon University College



みんなの思い出が
溢れ出てきて
止まらないよ！
卒業おめでとう

あつたよね

いっっぱい

あんなこと

こんなこと

Conratulations
on your graduation!

贈る言葉

学報編集委員 板倉茂樹 | 久保由佳 | 立川聡子 | 古川貴子 | 栗原多恵 | 加山千恵美 | 駒場俊太

発行：佐野日本大学短期大学
〒327-0821 栃木県佐野市高萩町1297 電話：0283-21-1200

● 本学は令和元年度（一財）短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。
● 本学の取り組みとして、積極的な情報公開に努めております。
一部の資料についてはホームページ等で閲覧が可能です。

公式ホームページ ▶ <https://sanotan.jp/> | スマートフォンは
コチラから▶



sanotan[®]
Sano Nihon University College

贈る言葉

Congratulations on your graduation!



理事長
長谷川 弘

「失敗」のすすめ

「米国労働人口の47%がAIなどの機械に代替されるリスクが70%以上」。この論文がマイケル・A・オズボーン氏らによって発表されたのが2013年。そして現在、金融業界等で「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」が定型事務作業の自動化により職員の残業時間を削減し、自律的に判断・行動する「スマートマシン」の普及が大量失業の可能性を示唆するなど、その兆候は確実にあらわれています。また「第四次産業革命」と「ソサイエティ5.0」の

到来は、世界の産業構造と就業構造を劇的に変化させ、日本でも2018年、内閣府が「人間中心のAI社会原則（案）」を発表するなど「AI-Ready」な社会の策定が進められています。

一方で「東ロボくんの母」、国立情報学研究所・社会共有知研究センター長の新井紀子教授のように「シンギュラリティ（技術的特異点）は来ない」という識見もあります。自然言語は数学が扱えない領域のためAIに倫理観や価値観が絡む判断はできず、人間を超えられないと見るものです。

ゆえに人間特有の発想・創造力を表す言葉である「IDEA（intuition:直感、design:デザイン、emotion:感情、art:芸術）」に基づくアート思考を鍛えていくことは非常に大切になります。さらに人間には、個々の力を倍増させる3つの「ワーク」があります。他者と協力（コラボレーション）して作業するチームワーク、アイデアを生み出す力となる人的ネットワーク、失敗を恐れず挑戦するフットワーク、すなわち行動力です。テスラ共同創業者兼CEOであるイーロン・マスク氏も「アイデアを実行すること」の重要性を述べています。

またそれに加え、全力で努力した結果としての「失敗」が、イノベーションをもたらします。ダイソン社の創業者ジェームズ・ダイソン氏はサイクロン式掃除機の開発に臨み、なんと5,126回も失敗しています。失敗の繰り返しが人間を強くすること、つまり「レジリエンス」の重要性です。強い風に吹かれた竹は大きく揺れ動くものの、決してすぐに折れたりはずせず、しなむことで柔軟にやり過ごし、またもとの位置に戻ってきます。このしなやかさと、跳ね返る力こそが失敗から立ち直る力、すなわちレジリエンスの持つ強さです。皆さんはこれから、それぞれの人生を歩んでいきます。そこでまずは、たくさんの人と出会い、多くの本を読み、時には旅に出ることで経験を深め、価値観を広げてください。そしてそれを土台として積極的に行動し、全力で挑戦を重ねてください。多くの挑戦は多くの失敗につながりますが、その苦境からの回復が皆さんをたくましくするのです。

卒業生の皆さんが「しなやかで強い心」をもって、この大変革の時代を生き抜くことを期待し、はなむけの言葉といたします。



学 長
佐藤 三武朗

立志は特異を尊ぶ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。春の訪れを待ちわびていたキャンパスの草木が、芽吹きをきを迎える季節となりました。皆さんが慣れ親しんだ中庭の芝生も暖かい春の空気を吸い込んでほのかな緑色に変わり、新たな人生の門出を迎えた皆さんを祝福しているかのようです。

「歳月人を待たず」のことわざのとおり、月日が流れるのはとても早いです。2年前の入学式で皆さんをお迎えした日のことを懐かしく思い

出します。入学式で見た皆さんの希望に満ちあふれた明るい表情は今でも私の脳裏に焼きついています。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行から3年が経ち、その間、皆さんはさまざまな制約や変化を受け入れながらも、専門知識や技術を身につけるために、学習はもちろん、インターンシップや実習、学内外の活動に励んできました。皆さんが習得した知識や技術、資格などは貴重なものになったと思います。また、本学では可能な限り学校に登校し、対面授業を実施してきました。それは学園生活を通じて友人をつくることや、学生・教職員が触れ合うことを大切に、学びの場だけではなく、交流の場を提供するためでもあります。中でも、令和3年12月に行ったクリスマスイベントや令和4年10月に開催したみかも祭は、皆さんの宝物となる思い出になったことでしょう。ハナミズキが咲き誇る中庭で皆さんが語り合ったり、写真を撮ったり、楽しそうに過ごしている姿は、私にとっても忘れがたい素敵な光景です。私たちが生きていく中では、いつどこで何が起ころか分かりません。コロナ禍で学んだことや経験したことを教訓とし、将来、役に立たせて

欲しいと思います。

日本大学創設者の学祖 山田顕義先生の恩師である吉田松陰先生の漢詩に「立志は特異を尊ぶ」との言葉があります。私の好きな言葉であり、皆さんへのはなむけの言葉にしたいと思います。この言葉は、吉田松陰先生が扇に書いたもので、「志を立てるためには人と異なることを恐れてはならない、いたずらに時を過ごすことのないように」と述べられています。志を立て、その実現に向かって努力してください。皆さんはそれぞれが、他の誰にもない個性を持っています。個性を活かし、皆さんが持つ力を大いに発揮して人生を切り開いて欲しいと思います。

皆さんにとって、2年間過ごしたこの美しいキャンパスは心の原風景であり、心の故郷です。後輩や教職員は、皆さんを応援しています。何かありましたら、いつでもキャンパスにお越しください。サノタンは皆さんをいつまでも温かく受け入れます。

皆さんの健闘を祈っています。

第16回 その子育て応援広場

令和5年2月10日（金）、佐野市文化会館にてこどもフィールドの学生たちが3年ぶりに市内の園児を招き、有観客で「第16回の子育て応援広場」の舞台を演じました。3年というのは園児にとっては3歳から5歳にかけて、学生にとっては高校3年次から短大卒業という期間に該当します。今回のテーマは「僕らの光～世界に笑顔が溢れるように」。あいにくの雪模様でしたが、皆で力を合わせ、会場と舞台上に光と笑顔を輝かせました。



本の虫愛好会

本の虫愛好会は、佐野市の図書館で行われている様々な活動のお手伝いをさせていただくことになり、2月2日（木）、2・3月に活動を行う佐野市立図書館（佐野図書館）において打合せを行いました。

佐野市立図書館（佐野、田沼、葛生）館長様をはじめスタッフ皆様のご協力をいただきながら、佐野市の図書館サービスについて学び、地域貢献のお役に立てるような活動への展開を目指しています。



浦田教育基金 学園創立60周年記念事業募金

ご寄付賜りました法人・団体様

有限会社篠崎商店様、有限会社協伸建設様、さくら総合サービス（株）様、有限会社オクサワ商会様、篠崎木工株式会社様、宗教法人惣宗寺様、税理士法人あさひ小山城南本部様、株式会社川田サッシ工業様、株式会社フォー・エックス様、株式会社ハクエイエンタープライズ様、株式会社佐野中央自動車教習所様、日星石油株式会社様、有限会社あさくら様、弁天堂様、有限会社ヨコタスポーツ様、有限会社ノザスポーツ様、有限会社地中海料理アンドラ様、関東旅行株式会社様、さくら総合サービス株式会社様、関東自動車株式会社様、株式会社娘屋様、株式会社明石スクールユニフォームカンパニー様、池頭塗装株式会社様、株式会社SN桜.com様

<令和4年3月から令和5年2月>

なお、個人の皆様からも多数のご寄付をお預かりいただきましたが、ご本人様からのお申し出により、ご芳名の掲載は控えさせていただきます。